

HOTEL SPA-MU

季刊 2025.04~06

No.74

答えがお解りになりましたらフロントへご連絡いただき、メンバーズNo.と間違い部分をお知らせください。

全問で正解されたメンバー様には粗品をプレゼントさせていただきます。

SPA-MU
暇つぶし間違い探しクイズ
(メンバー様限定) (1回正解まで)



正解イラスト



間違いイラスト

間違いは7箇所です

「目指せ万博博士!大阪万博スパムでクイズ」

4月13日～5月31日まで

4月13日から開催される大阪・関西万博、楽しみにしてる方もそうでない方も

※メンバー様限定

大阪万博は、世界中の人々が集い、最先端の技術と文化が融合する一大イベントです。

しかし、その魅力を本当に理解している人はどれくらいいるのでしょうか?『目指せ万博博士!大阪万博スパムでクイズ』を開催します! さあ、万博マスターの称号を手にするのは誰なのか?

ぜひ、楽しみながら挑戦してください。

全問正解で抽選で20組のお客様に

大阪の幸運の神様ビリケンのストラップをプレゼント!!

※抽選にもれた全問正解者のお客様は他のプレゼントになります。

参加してね～



4月13日～5月31日まで
メンバー限定、1組 1 回限り

目指せ万博博士!大阪万博スパムでクイズ

答えを選んで○をしてください。

- Q.01 万博のテーマに関連する3つのサブテーマに含まれないものは?
A. 命を救う B. 命をつなぐ C. 命を未来へ D. 命に力を与える
- Q.02 2025 年大阪万博では、どの技術が目玉とされている?
A. メタバース B. 量子コンピューター C. 核融合 D. タイムマシン
- Q.03 万博会場の中心にあるリング型の建築物の名前は?
A. グレートサークル B. 未来リング C. グレートリング D. サークルオブライフ
- Q.04 「ミャクミャク」のデザインコンセプトに含まれていないものは?
A. 生命の象徴 B. 水の流れをイメージ C. 自然文化を取り入れたデザイン D. 未来のロボットをイメージした造形
- Q.05 1970 年の大阪万博で披露された、未来的な通信技術は?
A. インターネット B. テレビ電話 C. AI ロボット D. VR 技術
- Q.06 万博会場の電力供給で活用が予定されている再生可能エネルギーは?
A. 風力発電 B. 太陽光発電 C. 水素エネルギー D. すべて
- Q.07 万博会場にはどんな「バーチャル体験」が導入予定?
A. VR で世界旅行 B. メタバース万博 C. AI ガイドロボット D. すべて
- Q.08 2025 年大阪万博に参加予定の国の数は?
A. 100 カ国 B. 120 カ国 C. 160 カ国 D. 200 カ国
- Q.09 2025 年大阪万博で目指す「カーボンニュートラル」の達成年は?
A. 2030 年 B. 2040 年 C. 2050 年 D. 2100 年
- Q.10 2025 年大阪万博を主催している組織の正式名称は?
A. 日本万博協会 B. 万博推進機構 C. 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 D. 大阪万博委員会
- Q.11 2025 年大阪万博の公式キャッチフレーズは?
A. 未来への扉 B. いのちの輝き C. 未来をつなぐ D. いのち輝く未来社会へ
- Q.12 万博のシンボル「ミャクミャク」はどんな生物?
A. 宇宙生命体 B. ウイルスの擬人化 C. 精霊 D. 公式設定なし
- Q.13 2025 年大阪万博の年間パスポートの価格は?
A. 12,000 円 B. 15,000 円 C. 18,000 円 D. 20,000 円
- Q.14 万博の開会式が行われる日は?
A. 4 月 1 日 B. 4 月 13 日 C. 5 月 1 日 D. 6 月 13 日
- Q.15 万博終了後、夢洲の開発計画に関わる大型プロジェクトは?
A. 宇宙港 B. カジノを含む統合型リゾート(IR) C. テーマパーク D. スポーツ競技場
- Q.16 2025 年大阪万博では何種類のパビリオンがある?
A. 2 種類 B. 3 種類 C. 4 種類 D. 5 種類
- Q.17 万博開催のために整備される交通インフラは?
A. 新幹線延伸 B. 地下鉄中央線の延伸 C. 自動運転タクシー D. 空路がタクシー
- Q.18 万博の「シグネチャーパビリオン」はどんな施設?
A. 企業専用の展示施設 B. 特定のテーマに基づいた体験型パビリオン C. VIP 専用エリア D. お土産専門エリア
- Q.19 2025 年大阪万博の閉幕日は?
A. 10 月 10 日 B. 10 月 13 日 C. 11 月 1 日 D. 12 月 31 日
- Q.20 1970 年大阪万博で岡本太郎が制作した「太陽の塔」には、内部にある特別な展示があります。
A. 「生命の樹」と呼ばれる進化のモニュメント B. 過去の万博を記録した歴史映像 C. 世界の神話を描いた壁画 D. 岡本太郎の手書きメモや設計図

メンバー No. _____



青、赤ペアでプレゼント

次回の四季報で当選者の発表をいたします。

問題用紙は机の上にあります。

用紙にメンバーズナンバーと答えを書いてフロントの応募箱にお入れください。

クロスワードパズルに挑戦してみませんか!?

4月1日～6月30日まで

※メンバー様限定

人物名がおわかりになられたお客さまは、期間内にフロント9番までご連絡くださいませ。

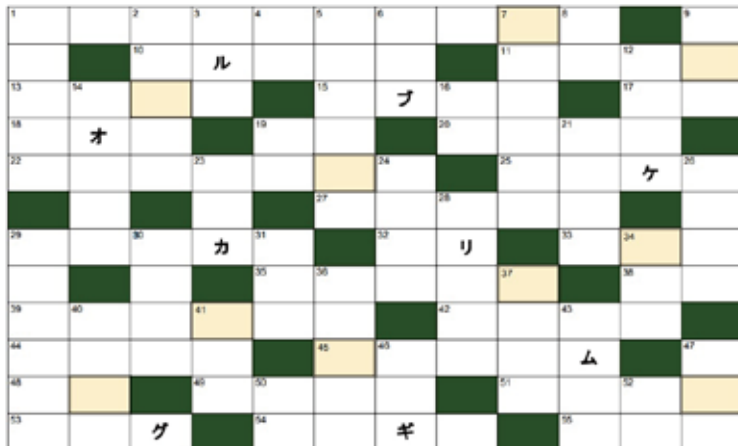
ご正解の場合はメンバーズ2000ポイントを進呈いたします。(※メンバー様に限ります。期間内にポイントを受け取れるのは一度だけとさせていただきます。獲得ポイントの反映に数日かかる場合があります。)

○スパムメンバー登録が必要です。

(メンバーズカードを精算機に差し込んだ後にご連絡ください)

最初に下のカギをヒントに空白を埋めてください。
二重線で囲まれた薄橙色マスの10文字のうち7文字を組み合わせると「ある人物名」になります。

問題用紙は机の上にあります。



Food & Service フード&サービス

4月からグランドメニューが春夏バージョンになります



わっぱめし&さっぱり麺

4月中旬からは…

※詳しくは机の上のポップをご覧ください。



山菜わっぱめし



冷たい茶そばサラダ



冷やしつけ麺うどん胡麻ダレ



韓国フェア

(6月中旬～)

※詳しくは机の上のポップをご覧ください。



サムギョプサル



海鮮チヂミ



石焼ビビンパ

じゃんけんスクラッチカード

5月21日～6月30日まで

大好評につき、またまた「じゃんけんスクラッチカード」を実施します。参加方法はとっても簡単！

卓上に置かれた「じゃんけんスクラッチカード」をこすればOK。

擦って勝ったらフロントまでご連絡ください。

※ 期間中でもスクラッチカードがなくなり次第終了いたします。



1970年の夢と2025年の冷めた現実、そして期待』

1970年の大阪万博は、日本中が未来に沸いたお祭りだった。来場者数は驚異の6400万人。当時の人口1億人強の半分以上が千里丘陵に詰めかけ、太陽の塔の下で目を輝かせた。父が語るあの日の記憶は鮮やかだ。「カラーテレビを見て、家族で『これが未来だ!』と興奮したよ」と笑う姿が忘れられない。5時間待ちの行列も苦にならない熱狂。高度成長期の勢いがあったこそだ。年10%の経済成長、家に冷蔵庫や洗濯機が次々入ってくる時代。万博は「日本が世界に追いついた」という誇りと、「もっと豊かになる」という夢の象徴だった。あの頃、子供からお年寄りまでが同じ未来を信じられた。でも、2025年の大阪万博には、そんな熱狂がまるでない。目標来場者数は2820万人と、1970年の半分以上。訪日外国人を取り込んでの来場数字なのだから、目標が低過ぎると感じる。世論調査では「行きたいと思わない」が67%(毎日新聞調べ)で、予算は当初の1250億円から2300億円超に膨らんだ。SNSでは「税金の無駄」「会場遠い」と冷ややかな声が飛び交う。先日、クライアント先で話したときも、「万博より海外旅行の方がマシ」と笑われた。私も「巨大リングは気になるけど、それだけじゃなあ」と感じてしまう。父の目を輝かせたあの感動は、遠い昔話だ。なぜこんなに冷めてるのか?時代が違いすぎる。1970年は高度成長期の頂点。人口は増え、若者が溢れ、経済は毎年ぐんぐん伸びた。



企業は人を雇い、家は建ち、子供たちは未来に希望を持てた。でも今は、少子高齢化が止まらない。2025年の日本人口は1億2200万人で、高齢者比率は38%超(内閣府推計)。街には空きテナントが増え、郊外の商店街にはシャッターが目立つ、若者は「老後が不安」と嘆く。円安で物価上昇が止まらない。大都市圏とは違い地方経済は停滞気味だ。

GDP成長率は1%前後をうろつき、1970年の10%なんて夢物語。

万博の予算超過を見て「また借金増えるだけじゃん」と感じるのも無理はない。

昔との違いは、そこにも表れる。1970年は「豊かさがみんなに届く」時代だった。万博に行けば、カラーテレビや新幹線が暮らしを変える実感があつた。家族で未来を語り、子供が「大きくなったらエンジニアになる!」と夢見た。

でも今は、AIや再生医療が展示されても、「それで生活良くなるの?」と疑問が先に立つ。少子高齢化で年金は減り、経済低迷で給料は上がらない。技術が進んでも、若者は「自分には関係ない」と感じ、年寄りには「もう間に合わない」と諦める。1970年の6400万人を動かした「未来への期待」が、2025年の2820万人すら(日本人のみで)集められない理由だ。地元の変化も冷めた空気を物語る。1970年は万博で大阪が沸き、商店は客で溢れ、タクシー運転手は「毎日が祭りだった」と振り返る。でも今、知り合いの店主は「万博で客来るかなあ」と首をかしげ、建設現場の遅れや「ミャクミャク」の奇抜さに話題が終始する。

開幕まで1カ月を切った今(2025年3月17日時点)、あの頃の熱気はどこにもない。それでも、どこかで万博に期待する自分がいる。1970年は成長の夢を見せた。2025年は「いのち輝く未来社会」を掲げるけど、少子高齢化と経済低迷の中で、どうやって私たちを動かすんだろう?

技術を見せるだけじゃ、心は響かない。今の日本に必要なものって何だろう?と考えるたび、ふとあの巨大リングや展示の可能性にワクワクしてしまう。

父が感じたような熱狂はなくても、冷めた空気を少しでも変える何かがあるかもしれない。そう信じていたい自分が、ここにいる。

